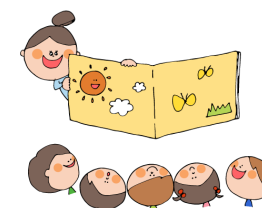


今月のおすすめ絵本 ～2026年2月～

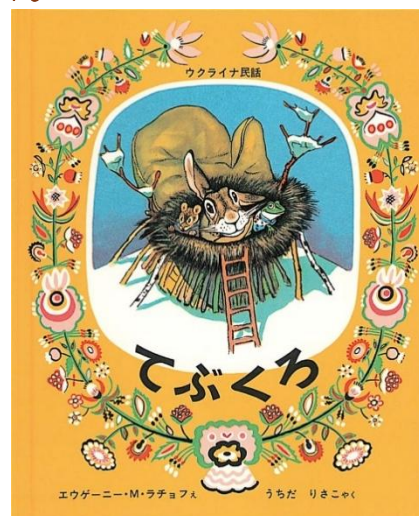
あそびの杜保育園

あそびの杜の子ども達は、絵本が大好き。0歳児の一番小さいクラスのお友達から、もうすぐ小学生になる5歳児さんまで、4月の頃から比べると、乳児子どもたちは絵本に合わせて声やことばがたくさん出るようになりました。幼児さんでは、長めのお話も集中してお話が終わるまで話を聞くことができるようになりました。「絵」の中から文章にない部分を読み取り、お話を自分なりに解釈して楽しむ様子も見えるようになってきました。「絵を読む」・・・ことばとして聞こえて来ない部分を思い描きながら楽しむ力。まさに「非認知能力」の育ちです。年齢によってそれぞれ楽しみ方は違いますが、子どもたちのこころの栄養になっているのは確かです。



さむい冬のお話 「てぶくろ」 子ども達の大好きな絵本です。

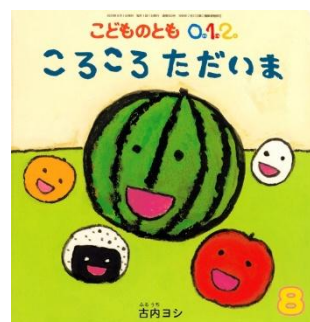
おじいさんが森の中に手袋を片方落としてしまいます。雪の上に落ちていた手袋にネズミが住みこみました。そこへ、カエルやウサギやキツネが次つぎやってきて、「わたしもいれて」「ぼくもいれて」と仲間入り。手袋はその度に少しずつ大きくなっていき、今にもはじけそう……。最後には大きなクマまでやって来ましたよ。手袋の中はもういっぱい！そこにおじいさんが手袋を探しにもどってきました。すると、てぶくろの中の動物たちは・・・



動物が現れる繰り返しのお話なので、3歳ころからは十分楽しめるお話です。3歳児クラスでお話あそびが始まります。

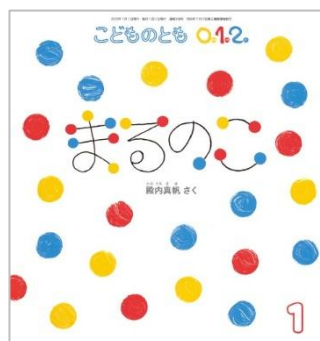
2歳児の月間絵本は「まんまるさん」 小さい子は○が大好き。楽しい○のお話をご紹介します。

「まるのこ」 「まるのこ でてきた ころん ころん」とやってきたのは、赤、青、黄の色鮮やかなまるのこたち。まるのこたちは、こがったり、跳ねたり、輪をつくったり、飛んでいったり。いろんな動きがとても楽しそう。リズムカルな言葉とともに、まるのこたちが動いている。最後はみんなで「ぎゅーっ」そして、飛び出しちゃった。ぱんぱかぱん。



「ころころ たいいま」

小さなりんごが、坂道をころころ。ころがってお散歩しています。「たいいまー」と、大きなりんごのもとに帰ってきました。小さなみかんや小さな卵もすいかやおにぎりも・・・「たいいまー」と帰っていきます。ころころ たいいま～！



「きりんのなやみごと」 5歳児むけ月間絵本が「きりん」のお話でした。

月間絵本ではキリンの生態、自然界のようすが子ども達にわかりやすく描かれています。おすすめ絵本にも、キリンが主人公のお話を選んでみました。

キリンのエドワードには悩みがありました。ぼくの首は長すぎ、細すぎ、上にいきすぎ、めだちすぎ・・・。「ほめてくれるのはママだけさ」。みんなの首はいいかんじ。「なんでぼくのくびは こうじゃないんだろう」ある日カメのサイラスが、エドワードにしかできないお願い事をします。たかーい木になっているバナナ。青いうちからずーっと見ていて、熟すのを待っていたんだそう。「バナナをとってほしいの？」エドワードは簡単にバナナをとってあげました。「やっぱりエドワードさんのくびはすてきです。」エドワードも、サイラスに「きみのくびも すてきだよ。」って。2人とも自慢の「くび」です。



保育園の子ども達がそのままを理解するのは、まだちょっと難しい。小学生向けの「たくさんさんのふしぎ」シリーズ。今月は「感情」「気持ち」のお話。子ども達は自分の気持ちをうまく表現できません。幼児になると、どんどん心が育っていきます。大人でも人間関係のなかで、感情が動きます。子ども達も同じです。気持ち、感情が子ども達にもわかりやすいような表現で分かりやすい絵で表現されています。

ぶんすか(大切なものを守る係)
しくしく(大切なものに気づかせる係)
ぶるぶる(安心安全を守る係)
よろこび(幸せな道案内係)

大人が読んでも興味深く面白い一冊です。

